

# マグロ類における緊急赤潮情報 8

令和4年8月17日  
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

猪串湾で、有害プランクトン（カレニア・ミキモトイ及びシャットネラ類）が注意密度を超えています。

マグロ類の管理にくれぐれもご注意ください。

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 発生場所    | 猪串湾                                  |
| 発生期間    | 8月17日～                               |
| プランクトン① | カレニア・ミキモトイ<br>森崎 158 cells/ml (10m層) |
| プランクトン② | シャットネラ類<br>みごの浦 4 cells/ml(表層)       |

※詳細は別添参照

(カレニア・ミキモトイ赤潮の注意点)

- ・ マグロの場合 警戒密度：200 cells/ml 注意密度：20 cells/ml
- ・ カレニア・ミキモトイは魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ・ 表層が着色しなくても、中層に赤潮を形成していることがあります。
- ・ 午前中、海色が良くても午後から色が悪くなる場合があります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、畜養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。
- ・ 低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

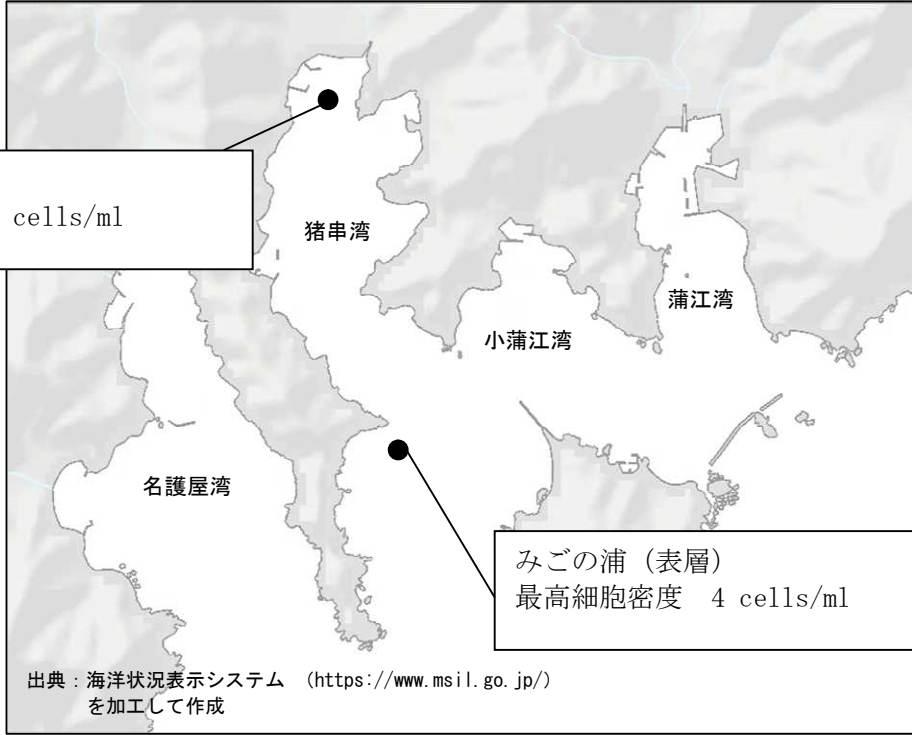
(シャットネラ類赤潮の注意点)

- ・ マグロの場合 警戒密度：10 cells/ml 注意密度：1 cells/ml
- ・ シャットネラ類は魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 海面が着色する前の低密度（100 細胞/ml）で斃死されます。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、畜養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。
- ・ 陸上養殖では夜間に、中層で赤潮を引き込む危険があります。

赤潮発生場所での対応

- ・ 投餌は控える。
- ・ 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- ・ 赤潮海域から魚介類を避難する。
- ・ 畜養は控える

森崎 (10m層)  
最高細胞密度 158 cells/ml



みごの浦 (表層)  
最高細胞密度 4 cells/ml

出典：海洋状況表示システム (<https://www.msil.go.jp/>)  
を加工して作成